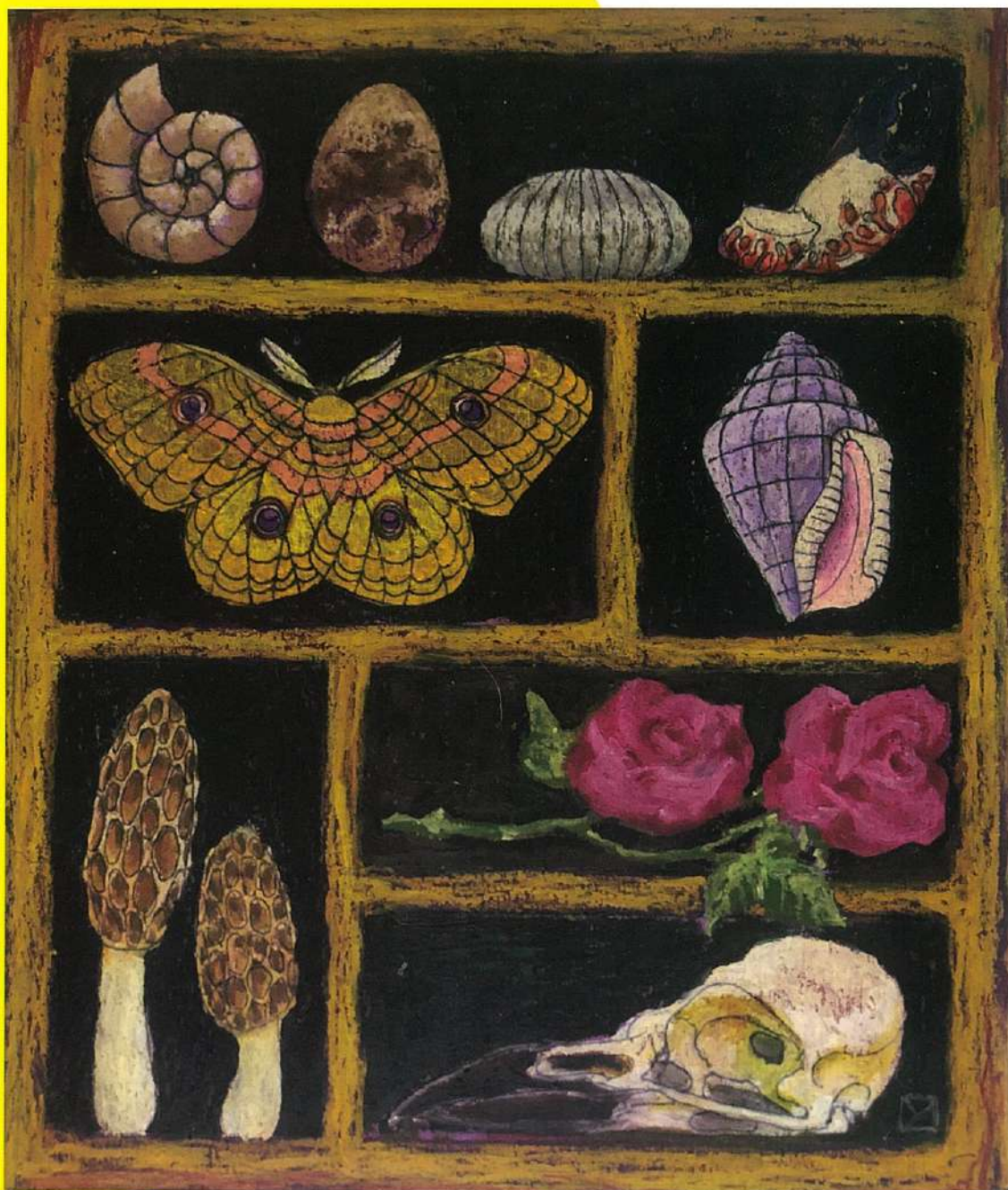




鈴木康生《陳列棚》2024年/クレパス・ラワンベニヤ・アクリル絵具/日南町美術館蔵

令和8年度 鳥取県アートミュージアム連携協議会共同企画展

とり美ネット加盟館のコレクションにみる 鳥取県のアート、いま。

2026. 10.2_金 » 11.1_日

時 間 / 8:30~17:00(最終入館は16:30まで) 休館日 / 10月5日[月]、13日[火]、19日[月]、26日[月]

観覧料 / 一般 200(150)円、高校生 100(70)円

中学生以下無料

観覧料の()内は20名以上の団体、障がい者手帳をお持ちの方と付添1名様の割引料金

10月31日[土]、11月1日[日] **観覧無料**

主 催 / 日南町美術館、鳥取県アートミュージアム連携協議会

作品出品館

倉吉博物館	日南町美術館
鳥取県立博物館	北栄みらい伝承館
鳥取県立美術館	米子市美術館
鳥取民藝美術館	渡辺美術館

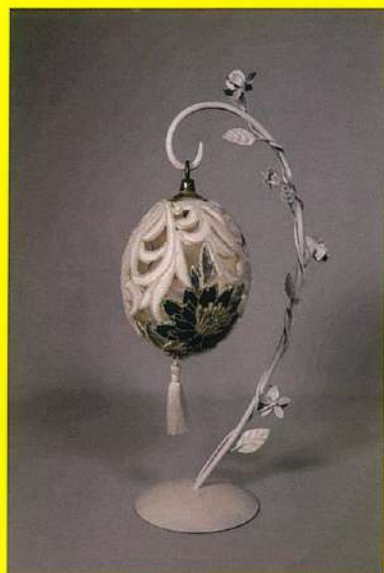
日南町美術館



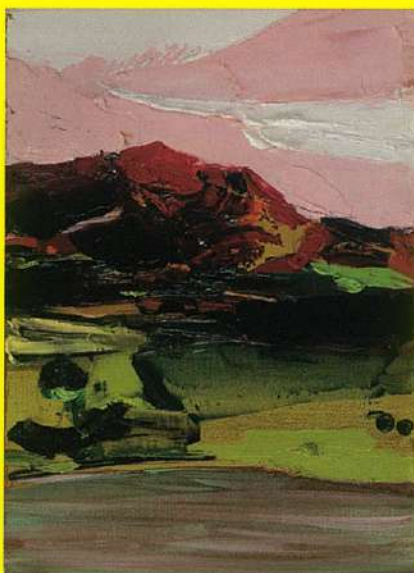
<https://www.nichinan-culture.jp/nichinan-museum/>

T 689-5212
鳥取県日野郡日南町霞785番地
TEL 0859-77-1113
FAX 0859-77-1115





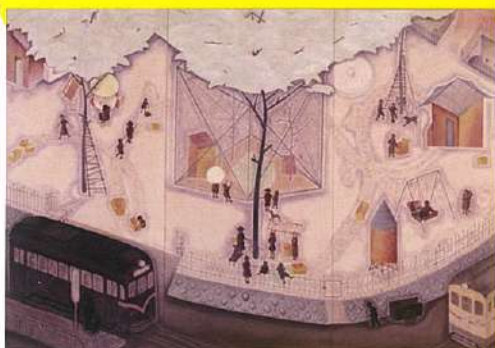
①



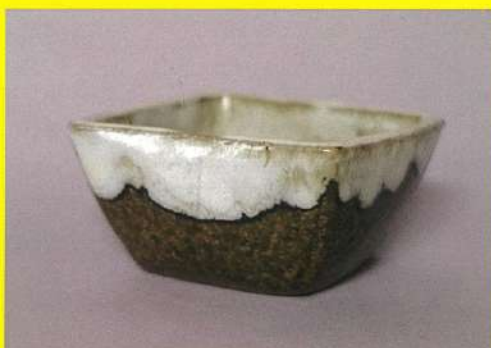
②



③



④



⑤



⑥

鳥取県アートミュージアム連携協議会、通称「とり美ネット」では、毎年テーマを設けて加盟館のコレクションを持ち寄り、共同企画展を開催しています。本年度は、現在国内外で活躍している鳥取県ゆかりの作家を紹介し、鳥取県のアートの「いま」にスポットを当てます。出品作品は、各館の多様な分野のコレクションの中から、鳥取県とゆかりのある現存作家の作品を選び、展示します。本展を通じて、「いま」鳥取県の作家たちからどのようなアートが生まれているのか、鳥取県内のミュージアムでは「いま」、どのようなアート作品を収集し、未来へ伝えようとしているのかを鑑賞者の皆さまと共有すると同時に、私たち学芸員自身も鳥取県ゆかりのアート作品を収集していくことの意義を改めて見つめ直したいと思います。そして本展が、各館のコレクションの魅力や役割に触れ、鳥取県のアートへの理解と関心をより一層深める機会となれば幸いです。

- ① 高屋敏子《エッグアート（スタンド）》
制作年不明/鸵鳥卵、ビーズ/渡辺美術館蔵
- ② 井田幸昌《End of today 2/4/2023 View of Daisen》
2023年/油彩 キャンバス/米子市美術館蔵
- ③ 山本隆博《Reappreciation》
2026年/パペル・鉛筆・油彩/北菜みらい伝承館蔵
- ④ 有田巧《公園前》2000年/フレスコ/鳥取県立美術館蔵
- ⑤ 山下清志《角鉢》1971年/陶器/鳥取県立美術館蔵
- ⑥ 福田豊《新作民藝椅子》制作年不明/樺/倉吉博物館蔵

関連 プログラム

加盟館学芸員によるギャラリートーク

- ① 10月31日[土] 13:30~14:30
- ② 11月1日[日] 13:30~14:30

申込不要

観覧無料

対話鑑賞

会期中の毎週日曜日

(11月1日を除く) 13:30~14:00

申込不要

要入館料

日南町役場横の「日南町総合文化センター」内の美術館。
図書館を併設しています。

日南町美術館



〒689-5212 鳥取県日野郡日南町霞785番地
TEL 0859-77-1113 FAX 0859-77-1115
[HP] <https://www.nichinan-culture.jp/nichinan-museum/>
[Email] s1052@town.nichinan.lg.jp

展覧会内容、イベントについての詳細情報は、
ホームページでご確認いただけます。あるいは、
日南町美術館へ電話でお問い合わせください。



【電車】 JR伯耆線生山駅下車2.5km。徒歩30分。タクシーまたは町営バスで「日南中学校前」下車、歩いてすぐ。
【車】 米子市内から国道180号または181号線で広島庄原方向へ。最寄りの江府ICから車で35分。